

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1122	(H.22)No.	1122
-----------	------	-----------	------

事務事業名 <b>道路橋長寿命化修繕計画策定事業</b>			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室	中 森 厚 志	63-7693
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施 策	2	道路整備
	小 施 策	3	快適な道路環境の形成
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	394601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	道路橋長寿命化修繕計画策定事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 橋梁維持費	道路橋長寿命化修繕計画策定事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>橋梁については高齢化が進行し、損傷の発生が懸念される状況が数多くあるため、調査・点検結果に基づき各橋梁の修繕計画を策定することによって、今後の予防的な修繕や架け替えについて国の事業制度を活用する。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>橋長15m以上の54橋については、長寿命化修繕計画に基づき各橋梁の長寿命化ならびに修繕にかかるコスト縮減、及び安全・安心の確保に努めます。 また、主要幹線道等における小規模な橋梁についても、調査点検に基づく修繕計画を策定し、安全・安心の確保に努めます。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<平成23年度への繰越明許費3,010千円>				補助金・交付金	その他 ( )	
	長寿命化修繕計画策定業務委託[L 15m] (54橋) ・委託料3,010千円				平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
直接事業費					5,000千円	3,000千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金			2,750		1,650	
	県支出金						
	地方債						
	その他( )						
一般財源	(0)	0	0	2,250	1,350	0	
人工数	職員	0.30人		0.30人		0.30人	
	臨時職員等						
概算人件費	(0千円)	2,190千円	0千円	2,190千円	2,190千円	0千円	
+ 総事業費	(0千円)	2,190千円	0千円	7,190千円	5,190千円	0千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。



# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1124-4	(H.22)No.	1124-4
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名 都市計画総務一般経費 (総合交通マスタープラン策定業務)			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	都市計画室	我山 博章	63-7764
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4 総合的な交通対策の推進
	施策	2 道路整備
	小施策	2 市内道路網の整備
重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	410501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	都市計画総務費
項	都市計画費	(小事業名)
目	都市計画総務費	都市計画総務一般経費

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
総合交通マスタープランでは、「名張市都市マスタープラン」が目指す集約連携型都市の軸を担う交通について、分散型の都市構造を維持した上で集約型の都市並みに行政効率を高める視点、高齢化が進む中で交通弱者の移動手段を確保する視点、都市や地域の産業・観光・交流にぎわいを支える視点、環境に配慮した低炭素社会を実現する視点などから、その施策体系を整理し、道路整備やコミュニティ交通といった個別の施策についてその有効性や優先度を検証し、合理的な役割分担による将来交通体系を立案する。	

めざす効果(事業目的)	
「集約連携型都市」を実現し、さまざまな移動対象者が、それぞれの移動目的に応じて適切な移動手段を選択できるといった、総合的な交通体系を構築する。 機能的で快適な移動を支える総合的な交通体系を立案し、質の高い暮らしの創造や日常生活における利便性の向上、災害時における代替性の確保など、安全で健やかな暮らしを支える都市交通の構築を目指す。	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] ・総合都市交通マスタープラン策定業務委託 8,131,200円  ・都市計画アドバイザー謝礼 30千円 他	[事業内容(事業量)・事業費] ・総合都市交通マスタープラン策定業務委託 7,010千円  ・都市計画審議会小委員会等の運営 報酬: 280千円 旅費: 87千円 他	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
直接事業費	8,170千円	7,407千円	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
財源内訳 (千円)	国庫支出金	2,700	2,300			
	県支出金					
	地方債					
	その他( )					
一般財源	(0) 5,470	5,107	0	0	0	
人工数	職員	1.20人	1.10人			
	臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 8,760千円	8,030千円	0千円	0千円	0千円	
+ 総事業費	(0千円) 16,930千円	15,437千円	0千円	0千円	0千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	39.4	40.3	40.8	-	41.0
	実績						
活動指標	目標	人	185	187	184	-	194
	実績						
考察及び今後の対応方針	コミュニティバス「ナッキー号」については、現在多くの市民に利用されている状況であり、今後の課題として更なる利便性の向上や持続可能な運行に向けた適切な負担のあり方について検討を進める。 一方、公共交通を中心とした都市交通機能の維持・充実については、総合交通マスタープランの中で「シビルミニマムの確保」、「都市と地域の維持・発展」、「環境に配慮した持続可能な都市交通体系の構築」といった観点で検討を進める。						

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・少子高齢化、人口減少社会を迎えており、都市においては効率的で持続可能な構造への転換が求められている。 ・国においては、交通の機能の確保、環境負荷の低減、適切な役割分担及び有機的かつ効率的な連携等による施策の推進、交通の安全確保を根幹に交通基本法案が平成23年3月に閣議決定されている。	・市民意識調査においては、高齢化、世帯構成の変化などに伴い、将来の移動手段の確保等を不安視する意見が多くある。

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある	協働等の主な相手先について 現時点で相手先は確定していない	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 事業協力	協働等の今後の取組について 今後、取組み予定	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある		シビルミニマムを確保する観点から立案する公共交通の計画を受けて、重複する行政サービスの見直しを検討する。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		公共交通機関や地域コミュニティ交通が担う役割とそれぞれが達成すべき目標を定め、適切な負担のあり方を検討する。
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある		公共交通機関や地域コミュニティ交通との協働で、計画の実現に向けた具体的施策について社会実験等により有効性を検討する。

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
平成23年度事業完了予定	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 目標を達成するための個別施策を立案する際、公共交通事業者、地域コミュニティ交通関係者などと協働で計画を立案することにより、より実現性の高い計画づくりを目指すとともに、計画策定段階において情報を提供することにより、多くの市民や事業者と行政の課題の共有化を図る。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4019	(H.22)No.	4019
-----------	------	-----------	------

事務事業名		交通安全施設整備事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		稲住和久	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度	~	平成	年度

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	391001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	交通安全施設整備事業	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	交通安全施設費	交通安全施設整備事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
<p>・安全で快適な通行を確保するために、道路反射鏡・防護柵・区画線等の交通安全施設を整備します。</p>	<p>交通安全施設の整備により、安全な道路環境の形成に努めます。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )		
主な事業の実績・計画	・道路反射鏡 設置3基 補修16基 ・防護柵 設置145m 補修21m ・区画線 設置 補修2,968m ・街路灯 設置14基 補修2基	・道路反射鏡 設置20基 ・区画線 補修5,000m ・街路灯 設置3基 ・その他補修は随時	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	・道路反射鏡、防護柵、区画線、街路灯の設置及び補修 ・道路反射鏡、防護柵、区画線、街路灯の設置及び補修 ・道路反射鏡、防護柵、区画線、街路灯の設置及び補修	
<b>直接事業費</b>	<b>7,994千円</b>		<b>10,000千円</b>		<b>10,000千円</b>	<b>10,000千円</b>	<b>10,000千円</b>
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他(繰入金)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
一般財源	(0) 3,994	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
人工数	職員	0.14人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
	臨時職員等						
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 1,022千円</b>		<b>1,314千円</b>		<b>1,314千円</b>	<b>1,314千円</b>	<b>1,314千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 9,016千円</b>		<b>11,314千円</b>		<b>11,314千円</b>	<b>11,314千円</b>	<b>11,314千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	410
	実績		432	429	417		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため交通安全施設の整備を進めます。						

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財源状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮し整備を進めていく。	高齢化が進み交通事故件数も減らない現状の中で、交通安全施設整備の要望は多い。

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 地元要望やパトロールによる緊急工事が随時発生するため、財源は少ないが効率的かつ計画的に進めていく。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4020	(H.22)No.	4020
-----------	------	-----------	------

事務事業名 一般市道整備事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室、維持管理室	中森 厚志、山岡 寛明	63-7693, 63-7861
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	393501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費		一般市道整備事業
項 道路橋梁費		(小事業名)
目 道路新設改良費		一般市道整備事業

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
市内全域から要望のある、地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備を実施し、既存道路を活用しながら計画的に実施します。	

めざす効果(事業目的)
生活道路の整備を進め、快適な道路環境及び地域間の道路ネットワークの形成を図ります。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
					平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )		
	市道改良(11路線) 44,492千円 測量調査~用地買収~工事		市道改良(10路線) 143,000千円 ・工事 L=1,050m ・調査設計 N=6路線 ・用地買収 A=2,500㎡ ・補償補填 N=1式		市道改良 115,500千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 外 34,500千円		
	側溝整備 外 28,594千円		側溝整備 外 44,500千円		市道改良 115,500千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 外 34,500千円		
	<平成23年度への繰越明許費 8,434千円>				市道改良 115,500千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 外 34,500千円		
	<平成21年度からの繰越 53,998千円>				市道改良 115,500千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 外 34,500千円		
<b>直接事業費</b>	<b>(53,998千円)</b>	<b>73,086千円</b>	<b>187,500千円</b>	<b>150,000千円</b>	<b>150,000千円</b>	<b>150,000千円</b>	<b>150,000千円</b>
財源内訳(千円)	国庫支出金 (29,448)						
	県支出金						
	地方債 (24,400)		44,900		115,500		
	その他( )						
	一般財源 (150)		28,186		34,500		
人工数	職員 (2.20人)		2.82人		2.88人		
	臨時職員等						
<b>概算人件費</b>	<b>(16,060千円)</b>	<b>20,586千円</b>	<b>21,024千円</b>	<b>21,024千円</b>	<b>21,024千円</b>	<b>21,024千円</b>	<b>21,024千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(70,058千円)</b>	<b>93,672千円</b>	<b>208,524千円</b>	<b>171,024千円</b>	<b>171,024千円</b>	<b>171,024千円</b>	<b>171,024千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	m	-	-	-	1,070	620
	実績		527	554	571		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.5		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の改良を進めます。						

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
今後の人口減少、高齢化社会などにより、地域内の生活道路に対する安全性の向上に関心が高まることが予測される。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む。

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 事業協力	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	効率的な資材、工法の採用
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・交通の利便性及び通行の安全性の確保が困難となる。 ・一般的に老朽化が進行しているが、優先順位に基づく適切な計画の検討を行なう必要がある。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4021	(H.22)No.	4021
-----------	------	-----------	------

事務事業名		県施行事業負担金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		都市整備政策室		松本 壽次	63-7675
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	1	広域道路網の整備
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	394001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	県施行事業負担金	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	道路新設改良費	県施行事業負担金	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・県単道路事業、地方特定道路整備事業及び急傾斜地崩壊対策事業等について、地域の状況等を把握し、三重県の整備計画に基づき計画的に推進します。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>・広域的な連携を促進するとともに、市民生活の安全・安心を確保するため、三重県が実施する県単道路事業、地方特定道路整備事業及び急傾斜地崩壊対策事業を推進します。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
					市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・県単道路改築事業 上笠間八幡名張線 名張青山線 上野名張線 蔵持霧生線 工事費 59,936千円 負担金 5,993千円		[事業内容(事業量)・事業費] ・急傾斜地崩壊対策事業 [国補事業] 夏秋地区 委託費20,000千円 × 1 / 10 2,000千円		補助金・交付金	その他 ( )	
	[繰越金] 上野名張線 事業費 5,210千円 負担金 521千円		[県単事業] 布生下出地区 事業費5,000千円 × 1 / 5 1,000千円		平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
				県の計画による	県の計画による	県の計画による	
<b>直接事業費</b>	<b>(521千円)</b>	<b>5,993千円</b>	<b>3,000千円</b>	<b>3,000千円</b>	<b>3,000千円</b>	<b>3,000千円</b>	<b>3,000千円</b>
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債		5,900	1,500	1,500	1,500	1,500
	その他(雑入)			1,500	1,500	1,500	1,500
一般財源	(521)	93	0	0	0	0	0
人工数	職員		0.20人	0.26人	0.26人	0.26人	0.26人
	臨時職員等						
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円)</b>	<b>1,460千円</b>	<b>1,898千円</b>	<b>1,898千円</b>	<b>1,898千円</b>	<b>1,898千円</b>	<b>1,898千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(521千円)</b>	<b>7,453千円</b>	<b>4,898千円</b>	<b>4,898千円</b>	<b>4,898千円</b>	<b>4,898千円</b>	<b>4,898千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。  
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	事業依頼箇所数 [平成20年度を現状値とした累計]	-	-	-	-	-
	実績		15	31	48	63	
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		三重県の「道路整備方針」に基づく名張市における事業(道路改築事業・舗装補修事業・災害防除事業・交通安全事業・急傾斜事業)について引き続き要望していく。					

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
受益者や地元自治会等と十分な連携を図り事業を推進していく必要がある。	

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践している"/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value="地域づくり組織等"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value="事業協力"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である"/>		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>		負担金支出は市財政の圧迫要因となっているため、別途特定財源の確保、事業負担率の適正化が図られるよう三重県に要請していく必要がある。
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>		負担金支出は市財政の圧迫要因となっているため、別途特定財源の確保、事業負担率の適正化が図られるよう三重県に要請していく必要がある。

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<b>総合評価(事業の展開方法)</b> <input type="text" value="継続(現行)"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 負担金の支出は市財政を圧迫する要因となっているため、別途特定財源の確保、事業負担率の適正化が図られるよう三重県に要請していく必要がある。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4022	(H.22)No.	4022
-----------	------	-----------	------

事務事業名 <b>社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)</b>			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室、維持管理室	中森 厚志、山岡 寛明	63-7693、63-7861
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	392001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)
項	道路橋梁費	(小事業名)
目	道路新設改良費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>国の社会資本整備総合交付金制度を活用し、既存道路の利便性・安全性向上を図るため、計画的に道路整備を実施します。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>観光ルートや生活道路として重要な役割を担う各路線を整備することにより、交通便利性の向上を図り、円滑で安全な通行を確保します。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
					平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施		
	市道改良(3路線) 35,164千円 ・改良工事 L=280m ・測量調査 N=2路線 ・用地買収 A=19.85㎡		市道改良(6路線) 156,300千円 ・改良工事 L=780m ・測量調査 N=3路線 ・用地買収 A=5,400㎡		業務委託(全部・一部)により実施		
	22年度への繰越明許費 49,222千円 市道改良(1路線)		側溝整備 外 14,000千円		指定管理		
	23年度への繰越明許費 11,509千円				補助金・交付金		
直接事業費	(49,222千円) 35,164千円		170,300千円	207,300千円	242,500千円		その他 ( )
財源内訳 (千円)	国庫支出金	(29,884) 16,160	92,950	113,300	132,000		
	県支出金		0	0	0		
	地方債	19,200 16,300	75,600	81,400	95,200		
	その他( )		0	0	0		
一般財源	(138) 2,704	1,750	12,600	15,300	0		
人工数	職員	(2.20人) 2.48人	2.44人	2.44人	2.44人		
	臨時職員等						
概算人件費	(16,060千円) 18,104千円	17,812千円	17,812千円	17,812千円	17,812千円	0千円	
+ 総事業費	(65,282千円) 53,268千円	188,112千円	225,112千円	260,312千円	0千円		

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	m	-	-	-	1,075	683
	実績		638	720	457		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.5		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
国、県事業の促進に関連し、当該事業制度の活用による市道整備の関心が高まることが予測される。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む。

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 事業協力	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	効果的な資材、工法の採用
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 観光ルートや地域間を結ぶネットワーク道路の整備については、活力ある地域・より良い生活環境の確保等の重要課題であるため、引き続き国の事業の動向を注視し、国費を有効に活用できる整備計画を検討する。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4024	(H.22)No.	4024
-----------	------	-----------	------

事務事業名		糞屋橋架替事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	都市整備政策室	松本 壽次	63-7675
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	1	広域道路網の整備
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	394701
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	糞屋橋架替事業
項	道路橋梁費	(小事業名)
目	橋梁維持費	糞屋橋架替事業

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
・当該橋梁は、接続する国道368号の改良工事との調整が必要であるため、三重県への設計・施工委託により円滑な事業推進を図る。	
・事業の負担割合 三重県:名張市 = 2:8	
既設橋梁の幅員に係る部分 三重県:名張市 = 5:5	
拡幅に係る部分 三重県:名張市 = 0:10	
・事業の概要 延長 L = 43.6m 幅員 W = 1.5m(現況 0.6m)	

めざす効果(事業目的)
・一級河川名張川の河川改修に伴い、市道羽根長瀬線の一部として当該河川に架設されている糞屋橋の架替を行い、地域住民の生活路の確保を図る。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] 社会資本整備総合交付金 事業附带工事 (市道長瀬羽根線架替事業) 工事費(工事費、用地補償費等) 26,016千円 事務費 1,984千円 計 28,000千円	[事業内容(事業量)・事業費] 事業完成のため	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
<b>直接事業費</b>	<b>28,000千円</b>	<b>0千円</b>				
財源内訳(千円)						
国庫支出金						
県支出金						
地方債	28,000					
その他( )						
一般財源	(0)	0	0	0	0	0
人工数						
職員						
臨時職員等						
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 28,000千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標	実績						
	実績						
目標	実績						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

### 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか [ ]	協働等の主な相手先について [ ]
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) [ ]	協働等の今後の取組について [ ]
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか [ ]	
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか [ ]	
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか [ ]	
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか [ ]	

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) [ ]	特記事項
(1)短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など [ ]	
(2)「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など [ ]	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4025	(H.22)No.	4025
-----------	------	-----------	------

事務事業名 一般市道舗装事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	395001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	一般市道舗装事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路舗装費	一般市道舗装事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
生活道路の安全性向上を図るため、計画的かつ効率的に道路舗装を進めています。	

めざす効果(事業目的)
路面補修により、通行の安全確保に努めます。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
					市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		補助金・交付金	その他 ( )	
	(H21年度繰越) ・舗装補修工事 11件 ・緊急補修工事 70件  (H22年度) ・舗装補修工事 4件 ・緊急補修工事 29件  (H23年度への繰越明許費 19,856千円) ・舗装新設 3件 ・舗装補修 9件		・舗装新設 3件 ・舗装補修工事 3件 ・緊急補修工事 随時		舗装補修工事	舗装補修工事	舗装補修工事
	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	舗装補修工事	舗装補修工事	舗装補修工事	
<b>直接事業費</b>	<b>(37,999千円)</b>	<b>15,348千円</b>	<b>40,000千円</b>	<b>60,000千円</b>	<b>60,000千円</b>	<b>60,000千円</b>	
財源内訳 (千円)	国庫支出金	(37,999)					
	県支出金		4,500	4,400	4,400	4,400	4,400
	地方債			14,800	23,100	23,100	23,100
	その他( )						
一般財源	(0)	10,848	20,800	32,500	32,500	32,500	
人工数	職員	(0.33人)	0.33人	0.66人	0.66人	0.66人	0.66人
	臨時職員等						
<b>概算人件費</b>	<b>(2,409千円)</b>	<b>2,409千円</b>	<b>4,818千円</b>	<b>4,818千円</b>	<b>4,818千円</b>	<b>4,818千円</b>	
<b>+ 総事業費</b>	<b>(40,408千円)</b>	<b>17,757千円</b>	<b>44,818千円</b>	<b>64,818千円</b>	<b>64,818千円</b>	<b>64,818千円</b>	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	-
	実績			139	115		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.5		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の舗装工事を進めます。						

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財源状況の中で、緊急性を総合的に考慮した適切な整備が必要。	市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できる道路が求められている。

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 既存道路の現状把握を行い、計画的な舗装工事や緊急的な舗装補修を実施していく。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4026	(H.22)No.	4026
-----------	------	-----------	------

事務事業名 <b>社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)</b>			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	395201
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)
項	道路橋梁費	(小事業名)
目	道路舗装費	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)

## 3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>社会資本整備総合交付金事業を活用し、既存道路の安全性向上を図るため、計画的な舗装工事を実施します。 平成22年度から4ヵ年をかけて市道北部中央線の舗装工事を、また平成23年度から3ヵ年をかけて池之谷中央線の舗装工事を実施します。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。</p>
---	---

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] ・市道北部中央線舗装補修工事 L = 170m	[事業内容(事業量)・事業費] ・市道北部中央線舗装補修工事 L = 155m ・市道池谷中央線舗装補修工事 L = 540m	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ( )	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	11,351千円	26,000千円	35,000千円	35,000千円	
財源内訳(千円)					
国庫支出金	5,970	14,300	19,250	19,250	
県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 5,381	11,700	15,750	15,750	0
人工数					
職員	0.14人	0.09人	0.09人	0.09人	
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,022千円	657千円	657千円	657千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 12,373千円	26,657千円	35,657千円	35,657千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。  
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。



# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5025	(H.22)No.	5025
-----------	------	-----------	------

事務事業名		道路維持費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		稲住和久	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	391501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	道路維持費	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	道路維持費	道路維持費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
生活道路の安全性向上を図るため、適切な維持管理を進めます。	

めざす効果(事業目的)	
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )		
主な事業の実績・計画	<平成21年度繰越> ・市道緊急補修工事 25件 ・道路施設修繕 111件  <平成22年度> ・市道除草作業委託 83路線 ・街路樹剪定作業委託 22件 ・地域等の作業委託(除草・剪定) 28件 ・市道緊急補修工事 8件 ・道路施設修繕 32件 ・道路側溝清掃外 ・雪水対策 ・施設維持管理業務等		・市道除草作業委託 17,500千円 ・街路樹剪定作業委託 8,900千円 ・地域等の作業委託(除草・剪定) 5,600千円 ・市道緊急補修工事 ・道路施設修繕 ・道路側溝清掃外 ・雪水対策 ・施設維持管理業務等		平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
直接事業費	(20,695千円)	69,372千円	85,579千円	95,000千円	95,000千円	95,000千円	
財源内訳(千円)	国庫支出金	(20,695)					
	県支出金						
	地方債						
	その他(諸収入)	371	382	382	382	382	
一般財源	(0)	69,001	85,197	94,618	94,618	94,618	
人工数	(0.25人)	0.37人	0.71人	0.71人	0.71人	0.71人	
概算人件費	(1,825千円)	2,701千円	5,183千円	5,183千円	5,183千円	5,183千円	
+ 総事業費	(22,520千円)	72,073千円	90,762千円	100,183千円	100,183千円	100,183千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	地域等への作業委託件数	-	-	-	-	-
	実績		-	27	28		
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合		47.9	48.3	48.7	49.0
	実績		47.5	46.1	45.5		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、生活道路等の維持管理を進めます。						

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財政状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮した適切な維持管理が必要。	高齢者が増える中、安心して通行できるよう、道路の補修、草刈等の要望が増加してきている。

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 補助・助成	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 老朽化施設が増え、今後の維持管理の財源確保について検討が必要。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5026	(H.22)No.	5026
-----------	------	-----------	------

事務事業名		橋梁維持費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		稲住和久	63-7681
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度	～	平成	年度

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	394501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	橋梁維持費	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	橋梁維持費	橋梁維持費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
生活道路の安全性向上を図るため、橋梁の適切な維持管理を進めます。	

めざす効果(事業目的)
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・橋梁維持補修工事 1件 ・原材料	・橋梁維持補修工事 ・原材料	補助金・交付金	その他 ( )	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	815千円	900千円	900千円	900千円	900千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他( )				
一般財源	(0) 815	900	900	900	900
人工数	職員	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 438千円	438千円	438千円	438千円	438千円
+ 総事業費	(0千円) 1,253千円	1,338千円	1,338千円	1,338千円	1,338千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	2	1		
	実績						
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため橋梁の維持管理を進めます。						

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財政状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮した適切な維持管理が必要。	市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できる橋梁が求められている。

### 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 今後は老朽化対策が必要となってくるため、長寿命化計画との整合を図りながら進めていく。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6086	(H.22)No.	6086
-----------	------	-----------	------

事務事業名		土木総務一般経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		都市整備政策室		松本 壽次	63-7675
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	380501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	土木総務費	
項	土木管理費	(小事業名)	
目	土木総務費	土木総務一般経費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>設計積算システム保守委託の実施</li> <li>コピー機使用料</li> <li>設計積算データ使用料</li> <li>システム機器使用料</li> </ul>	

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> <li>設計積算システムの導入により、設計等に係る事務の効率化を図る。</li> <li>コピー機使用時において、印刷データの再確認を実施し、経費節減に努める。</li> </ul>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費積算システム等保守管理委託料 585千円</li> <li>事業費積算システム機器等使用料 585千円</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費積算システム等保守管理委託料 147千円</li> <li>事業費積算システム機器等使用料 その他 1,197千円</li> </ul>		補助金・交付金	その他 ( )	
					平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
					<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費積算システム等保守管理委託料 147千円</li> <li>事業費積算システム機器等使用料 その他 1,197千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費積算システム等保守管理委託料 147千円</li> <li>事業費積算システム機器等使用料 その他 1,197千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費積算システム等保守管理委託料 147千円</li> <li>事業費積算システム機器等使用料 その他 1,197千円</li> </ul>
<b>直接事業費</b>	<b>1,170千円</b>		<b>1,344千円</b>		<b>1,344千円</b>	<b>1,344千円</b>	<b>1,344千円</b>
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他(手数料)	7	4	4	4	4	4
一般財源	(0)	1,163	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340
人工数	職員 0.20人		0.23人		0.23人	0.23人	0.23人
			0.10人		0.10人	0.10人	0.10人
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 1,460千円</b>		<b>1,849千円</b>		<b>1,849千円</b>	<b>1,849千円</b>	<b>1,849千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 2,630千円</b>		<b>3,193千円</b>		<b>3,193千円</b>	<b>3,193千円</b>	<b>3,193千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標							
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							
考察及び今後の対応方針							

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

### 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 設計積算システムについては、現在、三重県と同じシステムを導入しているが、今後とも使いやすく、より安価な積算システムの導入について検討する。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6088	(H.22)No.	6088
-----------	------	-----------	------

事務事業名		道路橋梁総務一般経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		都市整備政策室		松本 壽次	63-7675
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	道路法

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	390501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	道路橋梁総務費	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	道路橋梁総務費	道路橋梁総務一般経費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路台帳整備業務委託(隔年)</li> <li>・道路占用システム保守委託</li> <li>・境界復元等測量業務委託</li> <li>・道路占用システム機器等使用料</li> <li>・県道路協会等負担金</li> <li>・道路事故賠償金</li> </ul>	

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路台帳(市道)整備を進め、適切な維持管理を推進する。</li> <li>・道路協会等を通じて、会員相互の情報交換が図れるとともに、関係市町村と連携を図りながら国・県道整備に係る要望や陳情を行うことにより、事業の推進を図る。</li> </ul>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
					市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・役務費 1,020千円 ・道路占用システム保守委託 302千円 ・道路台帳整備業務委託 4,452千円 ・境界復元等測量業務委託 99千円 ・道路占用システム機器等使用料 48千円 ・県道路協会等負担金 769千円 ・補償補填及び賠償金 152千円 ・賠償金利子及び割引金 960千円		[事業内容(事業量)・事業費] ・旅費40千円 ・需用費10千円 ・役務費1,031千円 ・道路占用システム保守委託 336千円 ・境界復元等測量業務委託 1,000千円 ・道路占用システム機器等使用料48千円 ・県道路協会等負担金754千円 ・道路事故賠償金700千円		補助金・交付金	その他 ( )	
直接事業費	7,802千円		3,919千円		8,919千円	3,919千円	8,919千円
財源内訳(千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他(雑入)	145	700	700	700	700	700
	一般財源	(0)	7,657	3,219	8,219	3,219	8,219
人工数	職員	0.20人	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人
	臨時職員等		0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
	概算人件費	(0千円) 1,460千円	1,849千円	1,849千円	1,849千円	1,849千円	1,849千円
	+ 総事業費	(0千円) 9,262千円	5,768千円	10,768千円	5,768千円	10,768千円	10,768千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	地域等への作業委託件数 (平成20年度を現状値とした累計)	件	-	-	-	-
	実績				27	55	
活動指標	目標	交通人身事故の発生件数	件				
	実績			432	429	417	
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
国・県の動向を重視しながら事業に取り組む必要がある。	

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 関係市町村と連携を図りながら、事業推進に努める。	